



平成 29 年 3 月 10 日

各 位

会 社 名 **ゲンゼ株式会社**  
代 表 者 名 代表取締役社長 児玉 和  
(コード：3002、東証第1部)  
本 社 所 在 地 大阪市北区梅田2丁目5番25号  
問 合 せ 先 広報IR室長 小倉 誠  
(TEL. 06-6348-1314)

## 台湾連結子会社の事業撤退及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社連結子会社である郡宏光電股份有限公司（台湾）におけるタッチパネル向け導電性スパッタ・フィルムの製造・販売事業から撤退することを決議いたしましたので、お知らせいたします。本決議に伴い、平成 29 年 3 月期連結決算において固定資産減損損失等の特別損失を計上する見込みです。なお、タッチパネル向け導電性スパッタ・フィルムの製造・販売については、今後も日本において継続する予定です。

### 記

#### 1. 事業撤退の理由

当社連結子会社である郡宏光電股份有限公司は、台湾においてタッチパネル向け導電性スパッタ・フィルムの製造・販売事業を行ってまいりました。しかし、昨今の電子部品業界の需要低迷とフィルムの市場価格の大幅な下落により収益性が悪化しており、事業継続について現地合弁パートナーである華宏新技股份有限公司と協議の結果、両社は同事業から撤退することを決定しました。

#### 2. 郡宏光電股份有限公司の概要

①名称	郡宏光電股份有限公司 (Jun Hong Optronics Corporation)
②所在地	台湾・台南市
③代表者	(董事長) 葉 清彬 (総経理) 築山 弘敬
④事業内容	タッチパネル向け導電性スパッタ・フィルムの製造・販売事業
⑤資本金	700 百万台湾ドル
⑥出資比率	ゲンゼ株51%、華宏新技股份有限公司 49%
⑦決算期	12 月期

#### 3. 撤退方法及び日程

事業撤退方法は会社清算を予定しておりますが、解散日及び清算終了までの日程については合弁パートナーである華宏新技股份有限公司と協議中であります。

#### 4. 業績に与える影響について

平成 29 年 3 月期連結決算において、固定資産減損損失など撤退に伴う損失約 26 億円を特別損失に計上する予定です。なお、平成 29 年 3 月期の連結業績への影響等につきましては、他の要因も含め現在精査中であり、業績予想の修正が必要となった場合には速やかにお知らせいたします。

以 上